

6 本時の学習指導

(1) 目標

場面の順序を入れ替えたお話と3つの数の計算場面を表した2つの式(4 + 3 - 2)(4 - 2 + 3)を比べることを通して、式は場面の様子を表したものであるということが分かり、式から具体的な場面を想像し、式に合ったお話作りができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	期待する児童の反応	教師の支援活動
<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 4 + 3 - 2になる場面について考える。</p> <p>3 4 + 3 - 2と4 - 2 + 3を比べて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3匹来て、また2匹来るお話だったよ。 ・数が3つでも1つの式にできるよ ・昨日のお話とはちがうよ。昨日は2匹来たけど、2匹帰っているよ。 ・2匹来るときは「右の手くっつき」だけど、2匹帰ると「右の手はなれ」になるから、4 + 3 - 2になるよ。 ・4匹いて3匹来たから7匹になって、2匹帰るから5匹になるよ。 ・(-2)と(+3)が入れ替わっているよ。 ・ブロックや図で違いを考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数が3つの時も1つの式(4 + 3 + 2)に表すことができたことを確認する。 <p>発 (4 + 3 - 2になる情景図を提示し)このお話をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式を確認し、それぞれの数字の意味を考えながら、計算の仕方を考えさせる。 <p>発 (式(4 - 2 + 3)を提示し)この式についてお話しましょう。</p>
<p>しきのちがいを、ブロックやずでかんがえよう。</p>		
<p>(1) 式の違いを考える。</p> <p>(2) 式の違いを話し合う。(交流)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4 - 2 + 3だと、2匹帰って、その後で3匹来るよ。 ・4 + 3 - 2は3匹来て7匹になるけど、4 - 2 + 3は2匹減るから2匹になるよ。2枚目のお話の数が違うね。 ・ブロックで動かしたら、2つの式は動かし方が違ったよ。 ・○図に描いても違っているよ。 ・式が違うとお話も違うね。 	<p>評 ブロックに置き換えて操作したり図で表したりして、式から問題場面を考えることができたか。(観察、発表、ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話ししながらブロック操作をしたり図を描いたりさせて、数に意味を持たせて考えていけるようにする。 ・考えが持ちにくい子には、式を見て順にブロック操作をしながら動きに合わせてお話をさせたり、絵カードを用意したりして、場面をとらえられるようにする。
<p>4 式からお話作りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数だけでなく、足すのか引くのかにも気を付けてカードを選ぼう。 ・同じようなお話でも、式が変わるとお話も変わっているよ。 ・みんなのお話を比べるとよく分かるよ。 	<p>発 式に合うお話を作ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを用意し、式(6 + 1 - 3, 6 - 3 + 1)に合うように並べ替えてワークシートに貼らせる。早くできた子には、お話を書くことで正しい並び方になっているか確認させる。 <p>評 3つの数の計算の意味が分かったか。(観察、ワークシート)</p>
<p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを動かしたり○図を描いたりすると、式が違うとお話も違うことがよく分かったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数日記に、これから学習したいことを書かせる。

